

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
八百津町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	地域においては過疎化、少子化が進んでおり、地域の文化や伝統の継承が難しくなっている。また地域講師やボランティアの高齢化もあり、地域学習の在り方も課題である。経験年数の浅い教員も増え、地域学習の立案が大きな負担にもなっている	・町として2名の地域学校協働活動推進員を配置し、6校つの学校を3校ずつ担当し、1名は教育委員会事務局、1名は公民館に常駐する。(前年度並み) ・常駐する推進員は、地域と学校の連絡調整等を行い、地域講師の発掘や依頼の打診、地域と学校が関わりを深くする行事や活動の企画を支援する。	子どもたちにふるさと八百津に誇りと愛着を持たせるとともに、教員の業務負担を軽減する	月45時間以上の時間外業務を職員の割合	小 27 中 43	%	小 20 中 30		
八百津町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	家庭の教育力の低下が懸念されており、家庭学習の習慣が確立できていない子どもたちが心配される。	・町として地域学校協働活動推進員を配置し、教育委員会事務局に常駐し、土曜学習の企画運営にあたる。(前年度並み) ・2名の学習支援員を配置し、指導に当たる。また中高生のボランティアを確保し、小学校低学年を対象に20日間の学習支援を行う。	家庭における学習習慣の形成と子どもの家庭学習の充実	低学年児童の参加者	のべ 人数 310	人	400		

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。